

公益財団法人 8020 推進財団

令和 6 年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名：
多世代多職種連携によるフレイルドミノ予防啓発活動
2. 申請者名：
一般社団法人佐世保市歯科医師会 豊屋文人
3. 実施組織：
佐世保市歯科医師会、長崎県歯科衛生士会佐世保支部、長崎短期大学長崎国際大学、 佐世保市相浦地域包括支援センター、佐世保市早岐地域包括支援センター
4. 事業の概要：
今回我々は、相浦地域包括支援センターおよび早岐地域包括支援センター圏域の関係団体と近隣の大学と共同で地域のイベントに参加し、そのイベント内で各専門職がフレイルドミノの各ドミノに関する解説と相談対応をそれぞれが行う「啓発活動」を行うこととした。 オーラルフレイル予防の取り組みが地域住民主体で取り組むことができるように、フレイルドミノに向きあう圏域の専門職と市民を地域に増加させ、啓発活動を促進させることを計画しこの事業の目的とした。今回の事業により我々は、オーラルフレイルサポーターの養成と多世代地域住民へのポピュレーションアプローチの促進、多職種における包括的ケアおよび連携強化の促進を図ることを期待できる成果としている。
5. 事業の内容：
①各地域包括支援センターの関係団体および専門職のベクトル修正 ②各地域包括支援センターが参加する地域イベントでの多世代に向けた介護予防の啓発活動 ③地域の関係者等への報告会（次年度に向けてのベクトル修正） ④集約したデータをもとに新たな地域住民および専門職への発信
6. 実施後の評価（今後の課題）：
コミセン祭りをを用いた本事業は、地域にとって必要なものであったとしても、最終的には地域で自走継続できないと意味がない。イベント内容の確立、資金の設定など問題解決は必要不可欠であり、今年度を含めた 3 年間でトライアンドエラーを行いながら確立していく予定である。資金に関しては、課題抽出会議にて地域企業や専門職から協賛してもらうことも可能ではないかという意見が出た。この事業で作成したリーフレットを用いて仲間を増やし、地域で自走する形を次年度は取り入れて行く予定である。